

令和8年度からの基礎工学部学校推薦型選抜における女性枠の新設に関する
本学からのメッセージ

令和6年4月
大阪大学

大阪大学は「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、次代の社会を支え、人類の理想の実現を図る優秀な人材を育成することを教育理念（使命）としています。

その取り組みの1つとして、小学生から高校生を対象に、めばえ適塾やSEEDSプログラムの実施、STEAM教育に長年にわたって注力してきました。これらは、本学への入学を目指すものではなく、純粋に自然科学やそれらを社会に役立てる素晴らしさを知り、将来は日本や世界の大学の恵まれた環境の中で、目を輝かせて発明や発見に挑戦していただく人材の育成を目指すものです。その中には、女子生徒も多く参加しており、自然科学の発展及びそれらを社会に役立てることに対する、女性の持つ大きな可能性を見てきたところです。これらの長期にわたる取組を通じて、意欲にあふれ、さらに日本や世界の大学の環境で大きく成長を期待できる女子生徒が多いことを、本学は強く感じています。

そこで、これからの自然科学の発展と、その社会への還元を担う「理工系分野に卓越した女子学生」を育成することの重要性を強く認識し、基礎工学部の学校推薦型選抜において女性枠を設けて広く募集することとしました。

本学の理工系学部は、理学部、工学部、基礎工学部の3学部を有しています。そのうち特に基礎工学部は、科学と技術の融合を図る、との目的で設置した我が国で唯一の学部です。本学が育成したい「理工系分野に卓越した女子学生」は、本学での勉学を通じて、多様な理工系分野へ興味が広がると考えられるため、科学と技術の両方をフィールドとする基礎工学部において、本学でのスタートを切ることが最適だと考えました。

女性枠を設けることは、本学が多様性の向上を目指して、今まで以上に強力に取り組むという点で、大きな一歩を踏み出すこととなります。これを契機に、大阪大学から地域そして世界へ、本学が目指す多様性(Diversity)、公正性(Equity)、および包摂性(Inclusion)に富んだ社会を構築するムーブメントを起こし、波及させたいと考えています。

女性の理工系分野への進学を促進し、多様性あふれる教育・研究環境において、個々の特性を尊重しながら、その素質や能力を十分に発揮できる人材の育成に向け、大阪大学は、今後とも全力で取り組んでまいります。

本件担当
大阪大学教育・学生支援部入試課
admission@office.osaka-u.ac.jp